

2022年度 活 動 計 画

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

1 事業活動方針

2022年度もコロナ禍での活動を余儀なくされると予想されるため、前年度の経験を踏まえつつ様々工夫しながら事業を行います。

新型コロナウイルスをめぐる生活環境の変化や、感染の拡大により子どもたちは多くのストレスを抱えており、子ども支援活動はコロナ禍で制約を受けつつも、その役割は一層重くなっています。

当ファンドはコロナ禍にあっても、よりよい子どもの未来へ向けて子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、引き続き「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組んでいきます。

そして、子どもたちの現状を市民に伝えること、潜在的なサポーターの掘り起こしを図ること、子ども・子育ての課題に取り組む団体へ助成すること、活動団体とサポーターをつなぐコーディネートを行うことなど通じて子ども支援活動への支援と子ども支援活動を支える地域づくりを進めます。

また、昨年度終了した「かながわボランティア活動推進基金21」による神奈川県との協働事業『子ども支援活動地域サポート推進事業』及び「一般財団法人日本民間公益活動連携機構」から資金分配団体の指定を受けて行った『子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成』の両事業で培った知見・成果を今後の活動に活かしていきます。

子ども、若者、子育てを地域ぐるみで支える社会づくりを目指したポータルサイト「こどものみらい応援ネット」は本稼働2年目に入り、子ども支援活動団体とサポーター企業等とのマッチングを図るとの当初の目的達成の為に、サイトを定着させ、参画する団体や企業を増強してマッチング事例を増やしていくことが新たな課題となります。

当法人の自主事業である、助成事業については2022年度の助成先へのフォローを継続させるとともに、2023年度の募集に向けて、スキームの見直しや申請書の改善など取り組むべき課題に対処し、助成先団体にとってより活用しやすい助成事業を目指します。

いじめ防止の「ピンクシャツデー」は、さらに県域全体に活動の輪が広がる様、参加・協賛いただく行政、学校や企業を増やすべく上期から積極的に取り組んでいきます。

これらを通じて、ようやく新しい生活様式が定着しつつあるコロナ禍において、中間支援団体としての役割を全うすべく、理事・職員・運営サポーター一丸となって全力で取り組んでまいります。引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

2 事業内容

(1) 個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

① NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

(ア) ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の運用によるマッチングの推進

- | | |
|--------|---|
| ・内 容 | 子ども支援活動団体の情報、団体の活動を支える企業等の情報、子ども支援に関する情報を集約した上記サイトを運用し、活動団体と企業等のマッチングを行う。 |
| ・日 時 | 通年 |
| ・場 所 | 事務局他 |
| ・従事者人員 | 2名 |
| ・受益対象者 | 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等 |
| ・支 出 額 | 1,127,729円 |

(イ) つなぐ・支える相談窓口の運用によるコーディネートの推進

- ・内 容 ホームページ上に開設している「つなぐ・支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターの申出をコーディネートする。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局及び県内
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 902,183円

② 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

(ア) 会員の募集と寄付の募集

- ・内 容

【会員の募集】

	2022年度目標	2021年度実績
正会員	60名※ (60口)	61名(40口)
準会員	25名 (25口)	20名(20口)
子ども応援会員	15名 (15口)	11名(11口)
法人会員	31社 (31口)	21社(25.6口)

※定款第9条第2項の適用による減を見込む

【寄付の募集】

	2022年度目標	2021年度実績
一般寄付金 ※	6,700,000円	6,452,572円
運営基盤を支える寄付金	100,000円	80,811円

※ピンクシャツデー協賛金を含む

- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局及び県内
- ・従事者人員 15名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 1,515,755円

(イ) 音楽イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等の音楽イベントに出展し、募金活動や子どもの居場所事業等実施団体の紹介を行う。
- ・日 時 5月7日他
- ・場 所 大さん橋ホール他
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 104,107円

(ウ) 各種イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 商店街やテレビ局等の主催イベントに出展し、飲料のチャリティ販売と募金活動を行う。
- ・日 時 未定
- ・場 所 未定
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 270,677円

(2) 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

① 助成事業

(ア) 2022年度助成

- ・内 容 「一般助成」及び「課題助成」合わせて総額120万円（1団体上限30万円）で2021年度に募集し、助成選考委員会を経て決定した7団体へ総額1,193,300円の助成を行う。

(2022年度助成選考委員会)

- 委員長 高見澤尚弘氏 株式会社高尚 代表取締役社長
- 委員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
- 委員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士
- 委員 藤枝 香織氏 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 理事・事務局長
- 委員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員

- ・実施時期 5月
- ・従事者人員 10名（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 1,365,803円

【2022年助成対象団体一覧】 助成総額 1,193,300円

<一般助成>

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	生き×居きコミュニティ	<就労支援事業> 就労の悩み・モヤモヤ座談会	横 浜	83,300円
2	NPO 法人ここだね	<学習支援事業> 無料相談・無料学習支援事業	逗 子	200,000円
3	NPO 法人街の家族	<乳幼児親子支事業> 街の家族子育て応援プロジェクト ステージ3 乳幼児一時預かり保育事業	横 浜	180,000円
4	常設子育てサロン ちっちゃなて	<乳幼児親子支援事業> 子育てサロンの運営	秦 野	200,000円
5	特定非営利活動法人 こどもの広場もみの木	<居場所づくり事業> 「こどもの広場」を核にした地域における子育てを支え合うピアサポートコミュニティづくり	座 間	200,000円

合 計	863,300 円
-----	-----------

<課題助成>

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	特定非営利活動法人 BONDプロジェクト	<女性支援事業> bond Project@かながわ -10代20代の女の子のための相談室-	横 浜	200,000 円
2	特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア	<乳幼児親子支援事業> 家庭訪問型子育て支援ホームスタート	大 和	130,000 円
			合 計	330,000 円

(イ) 2023年度助成事業

- ・内 容 2023年度助成対象団体の募集
「一般助成」及び「課題助成」（いじめ・貧困・児童虐待）を設定し募集する。
- ・実施時期 11月～
- ・従事者人員 10名（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 512,176円

② 助成贈呈式及び助成報告会

- ・内 容 2022年度助成対象団体への助成贈呈、過年度助成対象団体の活動報告及び寄付をした企業・団体・個人との交流
- ・日 時 未定
- ・場 所 未定
- ・従事者人員 20名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 0円

(3) 前号の助成の対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

- ・内 容 助成対象団体等への事業運営等に関する助言、支援及び専門家の紹介等
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 170,725円

(4) 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

- ・内 容 子ども・若者と子育てに関する実態の把握
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局

- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 214,040円

(5) 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

① 「ピンクシャツデー2023 in 神奈川」の取組み

- ・内容 ピンクシャツデーキャンペーンの取組みをとおり、多様性を認め合い、いじめストップを願う地域づくりに取り組む。行政と企業、NPOが連携協働し進める神奈川モデルを構築し、県内各地に広げていく。
- ・日時 2月（ピンクシャツデー月間）
- ・場所 神奈川県内
- ・従事者人員 20名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 1,984,803円

② 子どもみらいセミナーの実施

- ・内容 いじめ・貧困・児童虐待をテーマに、3回連続講座を実施する。
- ・日時 2022年10月、11月、12月（予定）
- ・場所 未定
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 900,000円

③ 子どものみらい応援団セミナーの実施

- ・内容 神奈川県「子どものみらい応援団」の構成団体等へ出向き、子どもの現状を伝えるセミナーを実施する。（2回）
- ・日時 2022年9月、10月（予定）
- ・場所 未定
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 45,109円

④ 「バリアフリーフェスタかながわ」への参加

- ・内容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタ」に出展し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを展開する。
- ・日時 11月
- ・場所 未定
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 104,107円

⑤ パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」の活用による普及啓発

- ・内容 パンフレットを活用して企業等への普及啓発活動を行う。
- ・日時 通年
- ・場所 事務局他

- ・従事者人員 5名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
 - ・支出額 270,655円
- ⑥ ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の活用による普及啓発
- ・内容 ポータルサイトを活用して企業等への普及啓発活動を行う。
 - ・日時 通年
 - ・場所 事務局
 - ・従事者人員 5名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
 - ・支出額 180,437円
- ⑦ インターネットを活用した普及啓発
- ・内容 Facebook等を活用して普及啓発活動を行う。
 - ・日時 随時
 - ・場所 事務局他
 - ・従事者人員 3名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
 - ・支出額 483,046円
- ⑧ 広報誌の発行による普及啓発
- ・内容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行う。
 - ・日時 7月及び2月（年2回発行） 各回3,000部発行
 - ・場所 事務局
 - ・従事者人員 5名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
 - ・支出額 273,161円
- ⑨ その他、メディア等を活用した広報宣伝
- ・内容 新聞・テレビ等のメディアに積極的に働きかける。
 - ・日時 随時
 - ・場所 事務局他
 - ・従事者人員 5名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
 - ・支出額 483,045円

円

(6) 第3条の目的を達成するために必要な事業

① 事業実施体制

- ・会議に関する事項
 - 通常総会 5月開催
 - 理事会 年10回開催
 - 運営委員会 年10回開催
- ・監査に関する事項
 - 本監査 年1回

・事務局体制

事務局スタッフ	非常勤職員	3名
運営委員による事務局応援		
	有償ボランティアとして	1名（週1回程度）
	その他ボランティアとして	2名（随時）

以上